



これなあに?

桂城公園の東南、ちょうど市民プールの裏手に、望楼付きの古い3階建て木造住居があるのをご存じでしょうか。

この天守閣を思わせる住居、実は、元大館町長桜庭文蔵氏が昭和8年に建てたもの。屋根に突出した望楼は織田信長の安土城天守閣を模したものと言われ、当時は極めて珍しいものでした。信長が安土城から京都を一望して様々な戦略を考えたという故事にあやかり、桜庭氏もこの望楼から大館町を望んで町の将来についての構想を練ったのでしょうか。

建築当時は現在の大館郵便局がある位置に建っていたのですが、近年の郵便局新築に際して、建物を基礎ごと現在地へ移動したのです。

正解は…

『旧桜庭文蔵邸』でした。

ふるさと大館へ

大館ふるさと会からのたより⑥

幹事長
菅原弘志さん



大館ふるさと会の年間の最大行事は、なんといっても年に一回の総会です。その総会が十一月十二日に開催されます。

総会といつても堅苦しいものではありません。総会こそは年齢や出身校、地域を越えて、懐かしい知り合いと顔を合わせられる年に一回のチャンスなのです。いや、人によっては何十年ぶりかの再会となるのかも知れません。それはふるさと大館を去つてからの各自の人間史のドラマとも思えます。

その総会が目前に迫ってきました。従つて大館ふるさと会は、竹村会長を筆頭として現在準備に大わらわです。事務局関係者はいわゆる手弁当で作業しているわけで、各自仕事帰りに集つては、その後神奈川、埼玉、千葉県などへと、三々五々帰宅して行くのです。

このように、総会の開催自体が

大変な努力を要するのですが、今年はそれに加えて会期中、総会会場のホテルに朝市を設けて、一般の皆さんにもっと大館市を知つてもらおうというのですから、なおさら大変です。

もちろん、このために小畠大館市長をはじめ市の関係者、商工会議所、農協、空港関係者等たくさんのかたがたの応援をいただいていますから、一段と熱が入ろうというものです。また今回は、芸能界で活躍中のポール牧さんが、在京大館高校同窓会の誘いに応じて参加してくださるというのですから、その盛り上がりが今から目に浮かぶようです。

どうか大館市民の皆さんも知り合いに声を掛けて、このような会があることをお知らせください。きっと明日への活力が各自の心に生まれてくるかと思います。

大館の方言講座

動作・状態に関する言葉

- ◇セグ・シェグ…急ぐ
- ◇タナグ…持つ。持ち上げる
- ◇チョス…いじる
- ◇ドデンスル…動転する。びっくりする
- ◇ナス…産む
- ◇ノサル・ヌサル…乗る
- ◇ハガエグ…はかどる。物事が予定よりも早く進むこと
- ◇ヘル…①言う。話す ②~することができる。両者とも対義語は「ヘネエ」
- ◇ホログ…(汚れを)払い落す
- ◇マガス…(水などを)こぼす
- ◇マガナル…身支度する

児童書
◆ズッコケ発明狂時代(那須正幹)
◆源之助(ハンス・ペーター・リヒター)
◆悪夢のシゲナル(早川真知子)
◆タムとトムのぼうけん(きむらだいすけ)
◆9月のテーマ関連図書コーナー

◆中央図書館の休館日 毎月第1金曜日 每月16、17、28日、10月10、15日
14時30分~/

『大館市史』から



一般書

- ◆古代東北と律令法(虎尾俊哉)
◆サッチャードの半生上・下(マーガレット・サッチャード)
◆個室のある老人ホーム(大原一興)
◆アメリカで医界から厳選した珠玉のアンソロジー
- ◆マス(稻垣瑞雄)
◆大老年(三浦朱門)
◆三人姉妹(見延典子)
◆せんせいひみつや(鹿島和夫)
◆ソフィーの世界(ヨースタイン・ゴルデル)
- ◆日本放送出版協会
◆犠牲(柳田邦男)
◆種蒔く人小牧近江の青春(北条常久)
◆ほか

『山こそ我が世界』

中央図書館新着図書
ガストン・レビュファ著
山と渓谷社



私の本棚



ガストン・レビュファ著
山と渓谷社

激しい登攀の中でも、常に詩人の魂をもつて山に接し、登山のすばらしさを世に知らしめたレビュファの世界が、没後十年にしてよみがえった。全十八冊の著作から厳選した珠玉のアンソロジー。